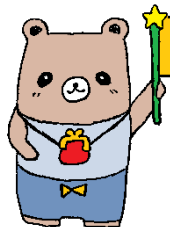




今年は
フラフラプを
お預りしたんだあ

はぐ便り

2022年
12月号
【第99号】



家庭教育研修会『はぐ講座』を開催しました！

10月26日(水)に、盛岡市家庭教育研修会はぐ講座『子どもに伝えたいお金の大切さ～小さいころからおうちでできること～』を開催しました。講師に岩手県金融広報アドバイザーであり、ファイナンシャル・プランナー(CFP)の戸田節子先生をお招きし、家庭でできるお金の教育について教えていただきました。内容の一部をご紹介します。



家庭でのお金教育の目的は？

皆さんは子どもに将来どんな大人になってほしいでしょうか？人生の希望を実現するためには「家計管理」と「生活設計」が大切です。自立後は自分でお金を管理しながら生きていくことになります。人生でお金を増やす方法は「節約」「働く」「運用」の3つですが、「節約」についてはおこづかいを通して生活の中で学ばせることができます。



お金の教育の始め方

お金の教育は、「お金と物が交換できる」ことがわかる頃から始められます。所有権や、お金の種類と数え方について、ままごと遊びなどを通して教えることができます。その時期をもう過ぎている場合は、できるだけ早くおこづかい制をスタートし、自分で判断して買い物をする「買い物体験」をさせてみましょう。

おこづかいのルール

金額はいくら？ お年玉はどうする？など、親子で話し合い、お互いが納得するルールを伝えることが大切です。



戸田先生おすすめのおこづかいルール



- ① 定額とし、期間を決める ★★★★★ 1週間～1か月単位で、決まった金額を渡します。
- ② 買う物を話し合って決める ★★★★★ 学校で使う文房具など、子どもの必要経費をおこづかいに含めることで、「欲しい物」と「必要な物」を意識させることができます。
- ③ 足りなくなっても補てんなし！ ★★★★★ 我慢と工夫のトレーニングができます。
- ④ おこづかい帳で振り返る ★★★★★ 「必要な物を安く買って満足」「必要で買ったけど高かった」など習慣を身につける
買ったものを振り返ります。
- ⑤ 家族全員で見守る ★★★★★ おこづかいルールは家族で共有。失敗を学びにするために、1歩引いて見守りましょう！

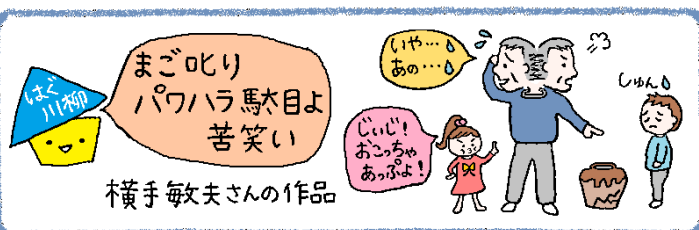
健康づくりの豆知識③

みなさん、日ごろ意識して歩くようにしていますか？
「歩く」ことは、最も基本的な運動であり、1歩当たり0.065円～0.072円の医療費を抑える効果(*)があるとされています。今より1日1500歩多く歩くことで、年間の医療費を1人約35,000円抑えられる計算になります。注)「歩く」ことを継続するためには、歩数を「見える化」すると効果的です。市は9月に健康づくりアプリ「MORI-WALKER」をリリースしました。歩数のほか、体重や血圧の記録もできるアプリです。親子で会話をしながら、家族でウォーキングに取り組んでみてはいかがでしょうか。注)医療費は概算です。
※国土交通省「まちづくりにおける健康増進効果を把握するための歩行量(歩数)調査のガイドライン」による



参加者の感想

- おこづかいのあげ方をもう一度考え直そうと思いました。
- 必要経費もおこづかいに組み込もうと思いました。
- おこづかいの内容の考え方を学べたので有意義でした。



次回ははぐ便りは第100号！
特別記念号です 本誌
2月下旬に発行予定です★



よい
お年を

